鳥取大学 Tottori University × 鳥取県

学生の皆さんの
参加を募集します！

「脱炭素を考える」企業と学生の共創ワークショップ

～ 企業の脱炭素を学び、一緒に考えよう!! ～

脱炭素社会で、環境と調和した企業活動にどう取り組んでいくべきか、学生目線のアイデアで、県内企業と交流するワークショップを開催します。「脱炭素」をめぐる最新情報も学べますので、ぜひご参加ください!!

日時 令和7年12月4日(木)13時～17時

場所 鳥取大学 CDL(コミュニティ・デザイン・ラボ)
（鳥取市湖山町南4丁目101）

参加費 無料

＜定員:20名程度＞

内容
1. 脱炭素をめぐる動向と『CO2排出量見える化』プチ体験
2. 学生目線で、脱炭素活動への改善提案などを考える

（参加される県内企業様）※五十音順
（株)エヌケーシー、中国電力(株)、(株)鳥取銀行、日ノ丸産業(株)
※詳細は裏面をご確認ください

参加対象者 県内の大学に通う大学生・大学院生
※脱炭素に関して関心のある方
※企業の脱炭素の取組に関心のある方　など
※専門知識の有無や学年は不問

参加申込方法 事前申込をお願いします。申込方法は裏面
（申込〆切:12/1(月)）

内　容

「脱炭素を考える」企業と学生の共創ワークショップ

1. 脱炭素をめぐる動向と『CO2排出量見える化』プチ体験

- 企業をめぐる「脱炭素」の最新状況を学びます。
- 商品・サービスの過程で発生するCO2排出量の「見える化」を学びます。
  - ・企業が行う「CO2発生量の算定」をモデルを使って、プチ体験！
  - ・算定方法を講師がわかりやすく解説し、専門的な知識は不要です！

2. 学生目線で、脱炭素活動への改善提案などを考える

- 脱炭素に取り組む県内企業（※）から取組事例を学びます。
  - ※商品・サービス提供過程のCO2排出量の見える化に取り組む企業
  - ※企業活動で生じるCO2排出量の削減に取り組む企業　など
- 企業の脱炭素活動が、環境負荷低減だけでなく、企業の魅力向上にもつながるようなアイデアなどを、企業の方と一緒に意見を交換します。

（参加される県内企業の事業概要）※五十音順

(株)エヌケーシー(鳥取市)：中核となるクレジット事業のほか、カーリース、ホテル、介護事業、ドローンスクールなど幅広く展開。中期経営計画に「SDGsへの取組」を掲げて多様な活動を進め、あまり前例のない介護サービスのCO2排出量見える化を実施。

中国電力(株)鳥取支社(鳥取市、本社：広島市)：中国地方を基盤とする電力会社。2021年2月に「2050年カーボンニュートラル」の実現を表明。エネルギー供給を通じた脱炭素社会の実現と地域の発展およびカーボンニュートラルに向けた技術の開発に取り組み、持続的な社会の実現を目指す。

(株)鳥取銀行(鳥取市)：鳥取県内に本店を置く地方銀行。脱炭素社会へ組織的に対応するため、サステナビリティ委員会を設置。銀行業務におけるCO2排出量の削減目標を含め、気候変動に関する情報開示を実施。その他、お取引先の脱炭素経営を支援。

日ノ丸産業(株)(鳥取市)：石油・ガス・太陽光エネルギー・ハウジング・観光事業などを展開。脱炭素時代を見据え、CO2排出削減や気候変動対策の取組を強化。太陽光発電や蓄電など創エネ事業に注力。灯油の定期巡回配送サービスのCO2排出量見える化を実施。

参加申込方法

（申込〆切：12/1（月））

次のいずれかの方法で申込みをお願いします。

○電子申請：以下URL又は右の二次元コードから申込ください。
https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18709

電子申請用↑

○メール：右の二次元コードを活用いただくか、
以下必要事項をメール本文に記載して送付ください。
《送信先》shoukou-seisaku@pref.tottori.lg.jp

メール送信用↓

【必要事項】必要事項が読み込める二次元コードもご活用ください。
①大学名・学部学科名、②氏名、③電話番号、④メールアドレス
⑤その他（当日聞いてみたいことなど）
・国際的なCO2排出量の削減の動き
・県内企業のCO2排出量の取組状況　など

○問い合わせ先　鳥取県　商工労働部　商工政策課（担当：藤内（とうない））
電　話　0857-26-7602
メール　shoukou-seisaku@pref.tottori.lg.jp